

開水路からパイプラインに転換、水路跡地を有効活用

東海農政局

新矢作川農業水利事業所 六ッ美幹線水路 川田工区

【施策の概要】

農業用水路の改修工事において、従来の開水路方式からパイプライン方式に転換することにより、維持管理費の低減を図るとともに、水路の地中埋設化により生じる地上部の跡地を散策道や通学路に活用し、地域のコミュニケーション空間の創設に寄与しました。

【施策のポイント】

- ・ 水路を地中埋設化することにより、従来の開水路方式で改修する場合と比較して、維持管理費が安価となり、ライフサイクルコストの低減が図られます。
- ・ 地上部の水路用地を有効活用し、施設の管理道路や通学路として利用することに加え、地域の意向を取り入れ、木チップ材舗装や間伐材による防護柵を採用するなど、周辺環境に配慮した散策路として整備を行いました。
- ・ 整備された歩道は、地元住民のボランティア活動による維持管理が行われるなど、地域との一体性を重視した効率的な社会資本整備により、憩いの空間づくりに寄与しました。

【施策の実施状況・イメージ図】



《整備後の状況》



《整備前の状況》

